

令和5年度地域おこし協力隊活動報告書

余市町長 様

余市町地域おこし協力隊員 蔓木 勇波

令和5年度余市町地域おこし協力隊の活動内容について、余市町地域おこし協力隊設置要綱第7条第2号の規定により、その実績として関係書類を添えて報告致します。

令和5年5月1日に地域おこし協力隊として着任し、漁師を目指すというゴールに向かっての第一歩として、余市群漁業協同組合の市場での支援業務を開始。鮮魚の荷受けや競り・入札の進行の補助などを行いつつ、市場に顔を出す漁業関係者に対して顔を覚えてもらうために積極的に交流を行った。10月からは支援先を市場から冷凍加工場に移し、町内の小売店に卸す水産加工品の製造や、組合の直売所で販売する商品開発補助、他の水産会社から注文を受けた鮮魚を発送するなどの業務を行なった。

漁業協同組合業務支援の他にに行った活動としては、

- ・水産業には欠かせない上に除雪等でも使用するフォークリフトの資格の取得や、水難事故発生時に救助をする技能を得るため日本赤十字社の主催する水上安全法救助員Ⅰ及びⅡの資格の取得。
- ・余市エコビレッジからの依頼で、余市に研修に来た方々やお試し地域おこし協力隊イベントで来訪したゲストへ水産業に関する講話を行い、余市産の魚を振る舞うなど水産業の魅力や問題点、今後の展望などを伝える活動。
- ・漁師を目指すにあたって、革新的な取り組みとして完全受注漁を行なっている岡山県の邦美丸さんを直接伺い、完全受注漁の仕組みや形になるまでの苦労、今後の展望など非常に有意義な情報を得た。
- ・メディア等の取材依頼を積極的に受け、新規移住者のため乏しかった知名度や交友関係、水産業関係者とのつながりの構築。
などが挙げられる。

① 余市郡漁業共同組合 市場業務支援

市場業務支援で行ったのは、主に以下の4つである。

1. 鮮魚の荷受け
2. 競り・入札の進行補助
3. 市場の清掃等雑務
4. 漁業者とのコミュニティの形成

市場には年間を通じて多くの海産物が出荷されてくる。それらの商品を受け取り、魚種ごとに適切な保管をしつつ、競りや入札がスムーズに行えるように重量や規格ごとに並べていく。場合によっては計量や仕分けの手伝いをしつつ、買人に当日揚がった魚種や数量の連絡なども行う。すべての魚が出荷された後は市場内の清掃を行い終業。

市場には水揚げにやってくる漁業者や買い付けにやってくる買人など、余市の水産業を支えている多くの関係者の方々が出入りする。そのため、新しくこの世界にやってきた私の存在をアピールするには、うってつけの場所である。業務を手伝いつつできるだけ挨拶や雑談を行うことで顔や名前を覚えてもらえるように努めた。

私は今まで太平洋側かつ比較的温暖な気候の海しか知らなかったため、市場に出勤することで、寒冷な気候の海域における海況や水揚げされる魚種などを実際に目にすることができたのは、漁師を目指して移住してきた者にとって、知識の基盤作りとして効果的であったと考えられる。

また、余市町は鮎の生息地の北限であり、稚鮎の放流事業を毎年行っている。そこに参加させていただき、余市川に自らの手で稚鮎を放流した。

市場：競り風景



市場：ヒラメの選別



余市川 稚鮎放流



② 余市郡漁業共同組合 冷凍加工場業務支援

冷凍加工場支援で行ったのは、主に以下の4つである。

1. 水産加工品の製造
2. 組合で販売している加工品の開発補助
3. 鮮魚の発送
4. 直売所の商品の出荷

余市群漁業協同組合は道内の漁協では珍しく冷凍加工場を有している。そのため、町内の小売店や全国各地のスーパーに卸す加工品、組合の直売所で販売する加工品などの製造が自前で行える。そういった加工品の製造を行うことで、様々な手法で鮮魚を捌く技術や加工をする際の調味のバランスなどの知識を得ることができた。また、直売所で販売する新商品の開発や加工にも携わらせていただき、調味メーカーとのやりとりや製品の保管方法、売れ筋に合わせた加工方法の検討などの知識も得ることができた。

今後6次産業化なども視野に入れて漁師を目指していく中で、こういった経験や知識を現場レベルで学ぶことができるのは得難い経験であった。また、水産会社から入った注文に合わせて魚を仕立てて発送する業務を経験する中で、こういった魚が高く売れるのか、こういった規格で仕立てると喜ばれるのかなどといった、1次産業のみに携わってはいはなかなか知ることのできない情報も知ることができた。

冷凍加工場での業務を経て、6次産業化を目指すにあたって必要になる2次、3次産業の内情を伺うことができたことは、将来的なことを考えればいきなり漁師になるよりも大きなアドバンテージを得ることになったと考えられる。

ホッケの開き加工風景



製造に携わった商品（一部）

余市産冷凍ヒラメフィレ



すけそうだらの寒干し



余市産冷凍にしんフィレ



ホッケの寒干し



余市産イワシー夜干し



ホッケとば ピリ辛風味



③ 資格取得

令和5年度中に取得した資格は以下の2つである。

1. フォークリフト運転技能講習修了証
2. 日本赤十字社 水上安全法救助員Ⅰ・Ⅱ

フォークリフトは水産業において、鮮魚の運搬をはじめとした様々な業務において使用されており、冬季には除雪にも使用されるため、普段の業務を行う上で、必須と言って良い車両である。運転には資格が必要なため、教習所へ通い、資格を取得した。資格取得後は市場内においてパレットの運搬など基礎的な動作を反復して練習し、操作の習熟に努めた。

水上安全法は、海、河川及び湖沼池での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、要救助者の救助及び応急手当の知識と技術を習得する講習である。日本では海難事故等が発生した場合、行方不明者の捜索などに付近の漁船が協力することがある。また、同乗している乗組員が転落したり、自身が転落したりすることも想定される。今後子供向けの海洋教育も行いたいとも考えているため、そういったイベントや業務中等に起こりうる有事の際に少しでも人命を救うための知識と技術を習得する目的で、本資格の取得を行なった。



④ その他

上述したもの以外に行った活動は以下の4つである。

1. 余市を訪れた人への水産業に関する講話
2. 完全受注漁 邦美丸への視察
3. 各メディア取材

1. 余市を訪れた人への水産業に関する講話

余市エコビレッジからの依頼を受け、研修で余市を訪れた社会人や、お試し地域おこし協力隊で余市を訪れたゲストに対して、若輩者ながらこれまで海に携わってきたものとして、余市町や日本の水産業に関しての問題点や展望、私の考えなどを伝えた。また、組合で加工している余市産の魚を調理して振る舞うことで、余市の水産物の魅力を伝えることなども行なった。

漁師は海況次第で仕事の有無が決まるため、こういったイベントのために事前にスケジュールを空けておいてもらうというのは損失に繋がることもあり、なかなか難しいのが現状である。しかし、海に詳しい人間が伝統や技術、知識等を伝えていかなければ、水産業の現状を伝えられない上に次の世代が育たない。それが今の日本人の魚・海離れに繋がっている一因でもあると考える。今後もこういった仕事を頂く機会があればできる限り知識や経験を伝えていく場を作りたい。

早稲田大学ビジネススクール



振る舞ったニシンとヒラメ



お試し地域おこし協力隊①



お試し地域おこし協力隊②



2.完全受注漁 邦美丸への視察

私が漁師を目指すにあたって、今の漁業の形で私が漁師として生きていくこの先数十年の間、変わらず魚が取れるのだろうかという疑問を抱いた。過去の余市がニシンを獲れずに衰退したように、ウニやエビが一切漁獲できなくなる可能性がないとは言い切れない。世界的にも持続可能な漁業を目指すことが主流になっている中、私も資源を枯渇させないような漁業を行って行きたいと考えた。そこで、完全受注漁を考案しジャパン SDG's アワードで表彰されるなど数々の功績を作っている、岡山県の漁師である富永さん夫妻のお話を伺いたいと考え、実際に現地へ向かった。滞在期間の中で、邦美丸の富永さんの現在の水産業に対する思いや熱意、ここまでメディアに露出をしているのは世の中に伝えたいメッセージがあるからだといったお話を伺った。私自身も考えをぶつけ、非常に有意義なディスカッションを行うことができた。それだけでなく、実際に漁に同乗させていただいたり、玉野市観光協会を始めとした様々な現地の方々と顔を繋いでいただいたり、短い期間の中で多くの収穫を得ることができた。とりわけ私の中にあった抽象的な目指す漁師像が、より具体的な形として纏まったことは大きな成果だったと言える。



3.各メディア取材

地域おこし協力隊として着任してから、いくつかのメディアや庁から取材の依頼を受けた。知り合いも伝手も一切ない場所で新たに漁師を目指すということで、できる限り多くの方との繋がりを求めていたので、私の名前を広げるためにも積極的に取材を受けた。おかげで余市町内外の様々な方から声を掛けていただくこともあり、効果を実感している。

以上